

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期白い森おぐに未来創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

山形県西置賜郡小国町

### 3 地域再生計画の区域

山形県西置賜郡小国町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の人口は、昭和30（1955）年の18,366人をピークに減少しており、住民基本台帳によると令和7年11月末現在では6,266人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所の令和5（2023）年推計によると、令和22（2040）年には総人口が4,345人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）及び生産年齢人口（15～64歳）は減少の一途をたどっており、生産年齢人口は昭和40（1965）年までは1万人を超えていたが、平成22（2010）年には4,816人と半数以下となり、平成27（2015）年には4,106人となった。また、年少人口は平成27（2015）年には866人となり、1,000人を割り込んでいる。一方、老年人口（65歳以上）は、平成2（1990）年には年少人口と逆転し、平成17（2005）年には3,000人を超えたが、以降は自然減が進んで減少傾向にあり、令和2（2020）年には2,882人となった。

自然動態をみると、出生数から死亡者数を差し引いた自然増減は、平成29（2017）年以降は100人以上の減少（自然減）となっている。

社会動態をみると、昭和54（1979）年以降、一貫して100人前後の社会減となっており、令和6（2025）年には59人の社会減となっている。このように、人口減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響

が懸念される。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、地方創生に資する事業の実施を通して目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 白い森の国を担う「人づくり」
- ・基本目標 2 白い森の魅力を磨く「環境づくり」
- ・基本目標 3 白い森を舞台とした「暮らしづくり」

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	出生数	21人	20人	基本目標 1
イ	生産年齢人口割合	49.7%	50.1%	基本目標 2
ウ	移住者数 (県内からの移住者含む)	51人	50人	基本目標 3

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2 とおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

白い森おぐに未来創生推進事業

ア 白い森の国を担う「人づくり」事業

イ 白い森の魅力を磨く「環境づくり」事業

## ウ 白い森を舞台とした「暮らしづくり」事業

### ② 事業の内容

#### ア 白い森の国を担う「人づくり」事業

より一層子育てしやすい社会の実現を目指すとともに、まちづくりを担う人財の育成やつながりの充実、多様な人々がまちづくりに関わる取り組みを強化します。

女性や若者が主体的に活躍できる環境整備をはじめ、文化の伝承と発展につながる仕組みの構築や、地域の活力を高めるための新たな協働活動など、複合的な展開による「人づくり」を推進します。

##### 【具体的な事業】

- ・ 出産支援金など、子育てにかかる多様な支援の充実
- ・ 地域の教育力を生かした保小中高一貫教育の推進
- ・ 地域文化を教える人（伝承者・指導者）の発掘と育成 等

#### イ 白い森の魅力を磨く「環境づくり」事業

社会資本の整備や維持管理など、町民生活の基盤を保全する取り組みや経済を支える産業振興に努めるとともに、防災対策の拡充を通じて危機管理能力を高め、災害に強いまちづくりを実践します。

豊かな自然と共存する生活環境を形成しつつ、新たな技術の活用などにより、町民の安心で快適な暮らしの追求を図ることで、心豊かに日々を過ごせる「環境づくり」につなげます。

##### 【具体的な事業】

- ・ 地域防災計画に基づく防災・減災体制の整備
- ・ 地域公共交通の再編（地域公共交通計画の策定を含む）
- ・ 地域内経済循環の促進（地元調達・地元消費の拡大） 等

#### ウ 白い森を舞台とした「暮らしづくり」事業

社会情勢とニーズに対応した医療・福祉施策の充実を図り、町民の命と健康を守る体制を確保します。今後の社会構造の変容を見通した上で、

新たな地域社会の方向性を示し、集落機能の保全や地域づくりにかかる多様な手法の創出を図ります。

農林水産業や観光交流の持続的な発展と合わせ、ブランド戦略を多面的に推進し、地域資源の魅力を磨き発信するとともに、地域の稼ぐ力を醸成します。さらに、移住・定住の促進に加えて、協働人口とともにまちづくりを進める仕組みを構築し、ブランド戦略と一体化した地域経済の活性化を通じて、町民の暮らしの質の向上につながる「暮らしづくり」に取り組みます。

**【具体的な事業】**

- ・ 地区や集落ごとの自治組織・地域運営組織の活動支援
- ・ 白い森ブランドを核とした事業創出と魅力発信
- ・ 地域内資源を活かした商品、サービス開発の支援 等

※ なお、詳細は第3期小国町地域創生総合戦略のとおり。

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

1,000,000千円（令和8年度～令和12年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度9月頃に外部有識者を含む「白い森みらい創生委員会」において効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

**⑥ 事業実施期間**

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

**6 計画期間**

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで